

団体名(正式名称)

公益財団法人オイスカ 名取事務所



代表者名	理事長 中野悦子
担当者名	啓発普及部 浅野奈々穂
住所	〒168-0063 東京都杉並区和泉2-17-5(本部) 〒981-1201 宮城県名取市下増田字北原東478(勤務地)
電話番号	03-3322-5161(本部) / 070-5550-7394(プロジェクト責任者携帯)
FAX番号	03-3324-7111(本部)
HPアドレス	https://oisca.org/
SNSアカウント	以下の二次元バーコードのとおり
代表メールアドレス	oisca@oisca.org
交通アクセス	仙台空港アクセス線「美田園」駅から徒歩25分 * 送迎あり
職員数	常勤職員76名 その他 44名(非常勤職員)
団体の理念	「すべての人々がさまざまな違いを乗り越えて共存し、地球上のあらゆる生命の基盤を守り育てようとする世界」を目指して、主にアジア太平洋地域で農村開発や環境保全活動を展開しています。この理念を実現する道としてオイスカが選んだのは「人材の育成」です。それぞれの民族が持つ歴史や文化、宗教などの違いを理解し尊重したうえで技術を伝えなければ、技術の種はその地に根を張ることはありません。大自然の摂理に基づく土づくりから始まる、その地に合った環境保全型の農業や産業を基本とします。この農村開発の実践を通してオイスカは、大地の恵みを知り自然と共に生きることの大切さを共有できる人を育みます。
団体の活動内容	主にアジア・太平洋地域で農村開発、環境保全、環境教育活動を展開。特に人材育成に力を入れ、各国の青年が地域のリーダーとなれるよう、国内外の研修センターで農業などの研修を行っています。また国内では、農林業体験セミナー開催などを通して、啓発活動や植林及び森林整備による環境保全活動を展開しています。



Youtube



Facebook



X



Instagram

プログラム名	海岸林再生プロジェクト		
インターン生の 活動内容(概要)	<p>本プロジェクトは東日本大震災の津波で流された海岸防災林を再生するプロジェクトです。宮城県名取市の海岸防災林100ha(全長5km×幅200m)、クロマツ37万本の「育林作業」のために、年間約30回、金・土を中心に、のべ約1,200名のボランティアが全国から来訪します。</p> <p>インターン生にはオイスカ職員やベテランボランティアとともに、活動の事前準備や下見、当日の運営補助をしていただきたいと思います。活動終了後は、活動ブログにレポートを書くことをルーティンとしています。また、名取駅などでの写真展開催や、オンラインイベント(活動報告)の企画・実施にも可能な範囲で関わっていただければと考えています。</p>		
	フィールドワーク	<input checked="" type="checkbox"/>	あり
インターン生の 活動内容(詳細)	<p>職員らとともに現場100ha全体の巡視・点検、ボランティア受け入れ事前準備、当日運営補助、安全管理、写真動画撮影など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月～10月中旬:「葛刈り等」作業と運営補助 ・10月中旬～11月中旬: 生長モニタリング調査(樹高・胸高直径計測、撮影) ・その他、HPブログでの報告・写真展開催・活動報告会など <p>※オフィスワークはあまりありません</p>		
インターン活動で 得られるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・NGOの現場で、プロジェクトがどのように運営されているのかを実践的に学び、震災復興や森林再生についての知識と経験を深めることができます。 ・国内外のスタッフや支援者、専門家など、多様な人との出会いを通して、視野や人脈を広げることができます。 ・活動を通して、コミュニケーション力や主体性、社会人として大切な「ほうれんそう(報告・連絡・相談)」を自然に身につけることができます。 ・実体験として、震災復興の現場に関わり、その一端を担うことができます。 ・国際協力、環境保全、人材育成といった分野について、机上の学びではなく“生の情報”に触れながら理解を深めることができます。 <p>※四季を通じ、さまざまな動植物との出会いもあります。</p>		
インターン生への 希望・期待	<p>本インターンでは、特別なスキルや知識よりも、「やってみたい」「現場を知りたい」という気持ちを大切にしています。肩に力を入れすぎず、実際に見て、感じて、考えたことを、SNSやブログ、オンラインイベントなどを通して、自分の言葉で発信してほしいと思っています。</p> <p>このプロジェクトの大きな魅力の一つは、さまざまな業種・年代の方と出会い、一緒に活動できることです。楽しみながら同じ時間を過ごし、同じ作業に取り組む中で生まれるつながりそのものが、プロジェクトの活気につながっています。</p> <p>また、これまでには通常のインターン活動に加えて、大学の専攻や個人の関心をもとに独自のテーマを設定し、研究やレポート、卒業論文などに発展させた学生もいます。</p> <p>活動の関わり方は一つではありません。自分なりの視点で自由に広げていくことを歓迎します。</p>		
活動時間	8:00～18:00の中で応相談 (フィールドワークは1日もしくは半日単位で金・土曜日が中心)		
特記事項	<p>6月～7月中旬、9月、10月上旬、11月上・中旬が最繁忙期です。7月下旬～8月は酷暑のため、葛刈りの進捗確認調査(徒歩)・巡視・点検を除き、全国からのボランティア作業受け入れは原則行いません。</p> <p>希望者は、東京本部や国内研修センター(愛知、福岡、香川)などでのボランティア活動にも参加できます(交通費は自己負担)</p>		